



「今日は円香の家に来てきたんだが
予定外の仕事のせいで
約束の時間に遅れてしまった……」



「頑張って走ってきたけど……
きつと怒られてる」

「あ……」



×××

「えっ!?!」

「あ……ごめん！」

遅れてしまっ!!」

(え……まさか……その格好で
ずっと待ってくれたの?……)





「走ってまで……」

「……来なければいいのに……」

「それでも来てくれる……
バカな人……」

「…何をじーっと

見てるんですか？」

「またこのまま

待たせるつもりですか？」

「えっ!!

いや…その…」

「か……かわいいね
その衣装……」

「……」





「...」

「...」



「...」

「...」

お♡

お♡

お♡

お♡

お♡

お♡

お♡





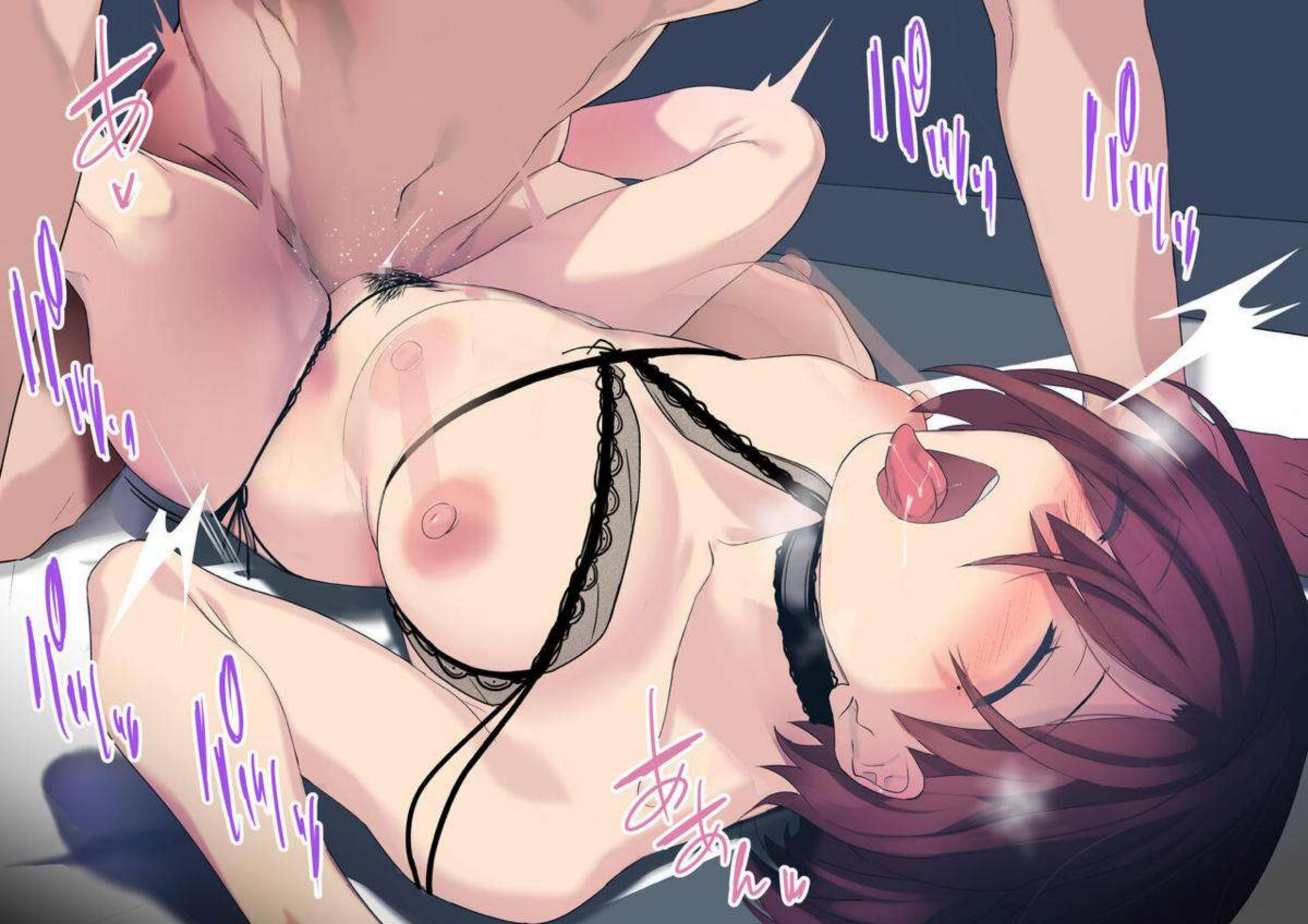


Ah
Haha

Mmm
Haha

Haha
Haha

Mmm
Haha



あはは

ははは

ははは

ははは

ははは

ははは

あはは



いっしょに

いっしょに

いっしょに

いっしょに

いっしょに

いっしょに

いっしょに

いっしょに

いっしょに











『アロデューサー。。。』

アロデューサー

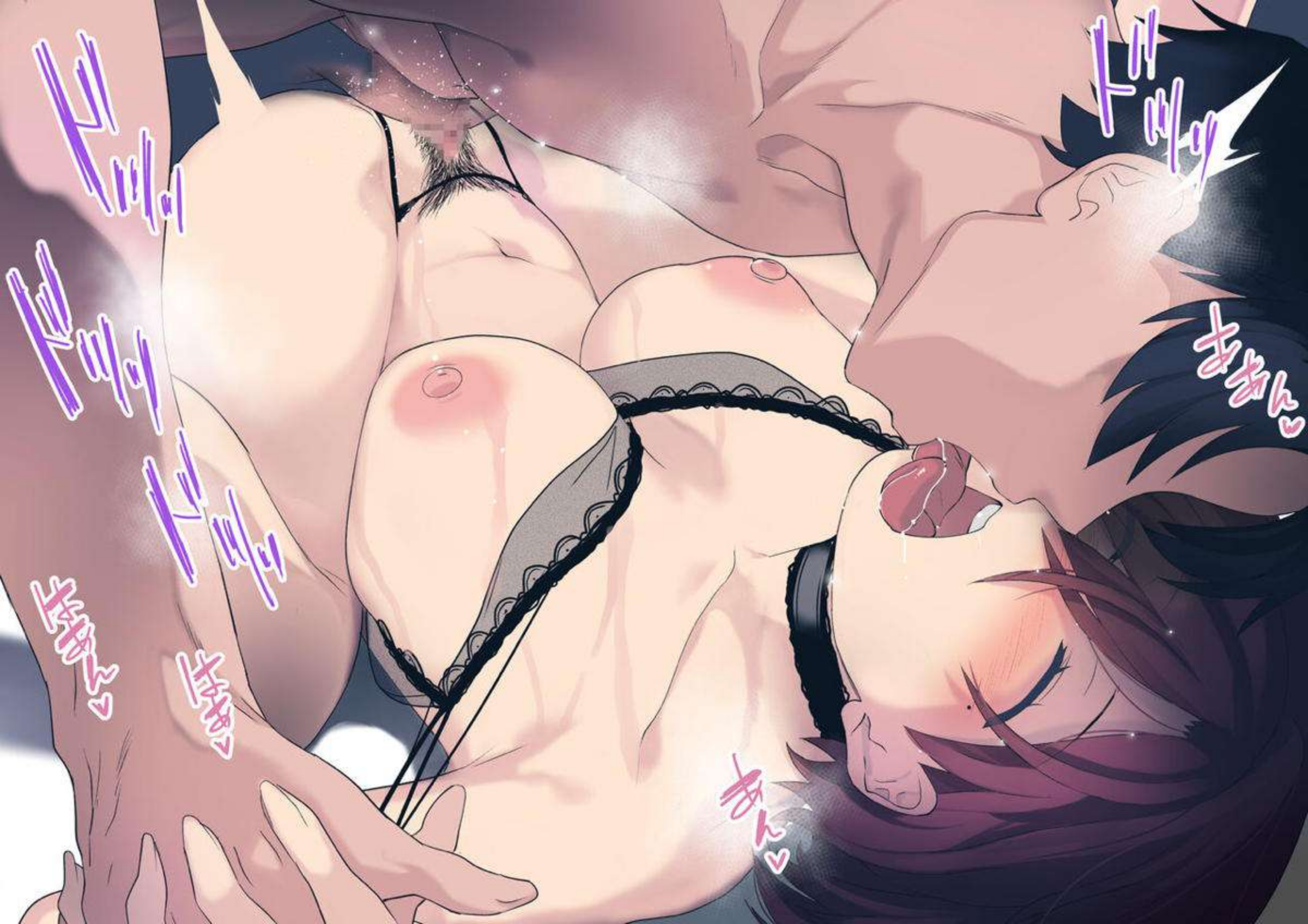
アロデューサー

アロデューサー

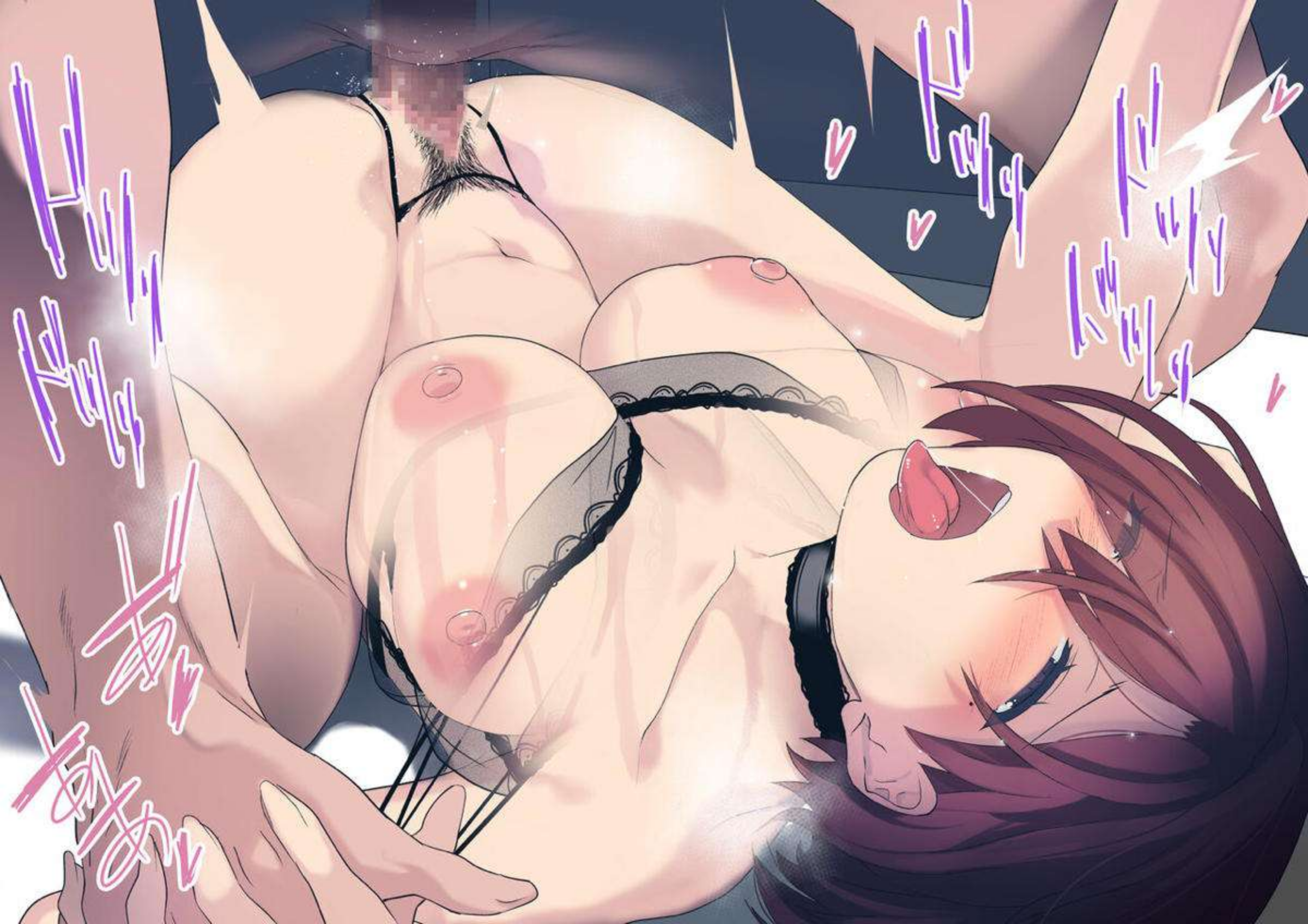
アロデューサー

アロデューサー













Blue scribbles

はあ♡

はあ♡

はあ♡





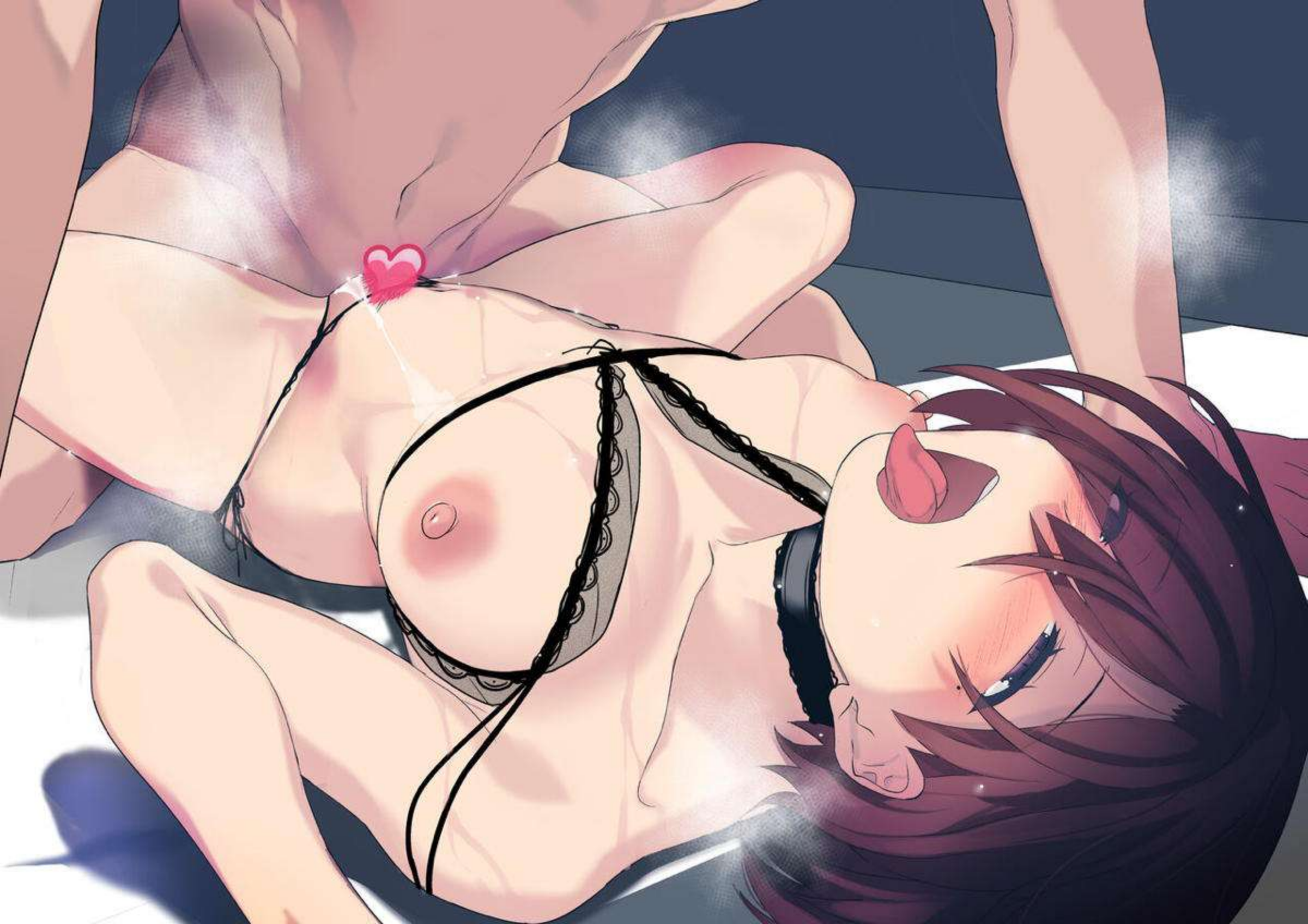
喜欢
喜欢
喜欢

喜欢









『あれだけ膣内は
ダメって言ったのに……
妊娠したらどう責任を取るつもり？』

はぁ
はぁ

はぁ
はぁ

「ごめん……あまごい
気持ちよくなってる……」



うん

「……」

「…何してるの?…」

「ごめん…円香のおまんこ…
エッチすぎて…
もう一度膣内に射精したい…」

「…何言ってるの?
あなた正気で言ってる?
無責任なこと言わないで」



「ちゃんと責任取るから！
…お願い!!」

んっ

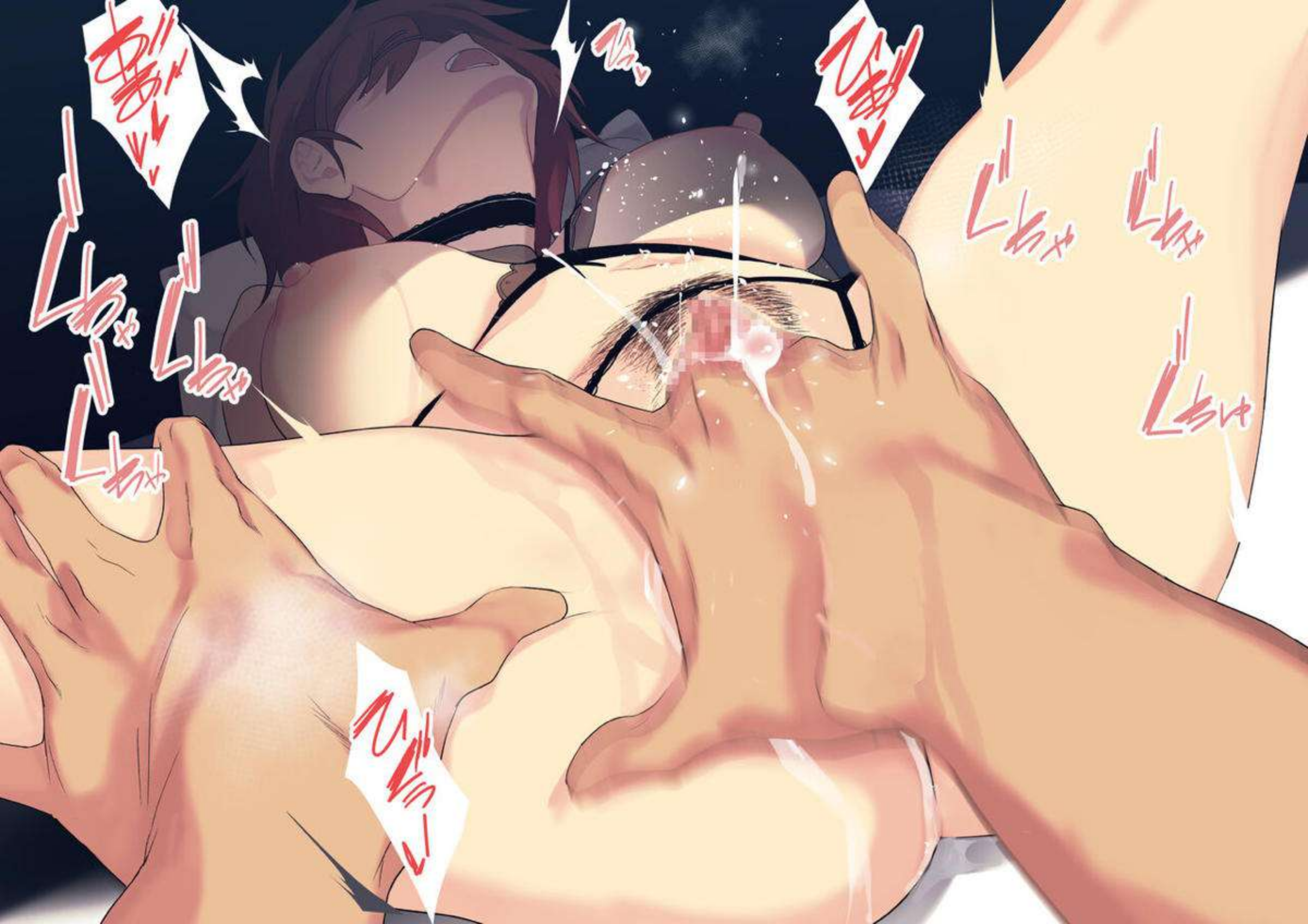
んっ

「…そんな…ああっ♡
これ以上は…♡…っ」





「んっ♡…
こんなの♡…
ひっ♡♡♡」









「悶番・・・」

「オッ、オッ」

「・・・」

「無責任で
バカな人……最低……」



「責任……ちやんと
取っててください」

あ…♡

「あ…」

「…バカ…」

「問番…」





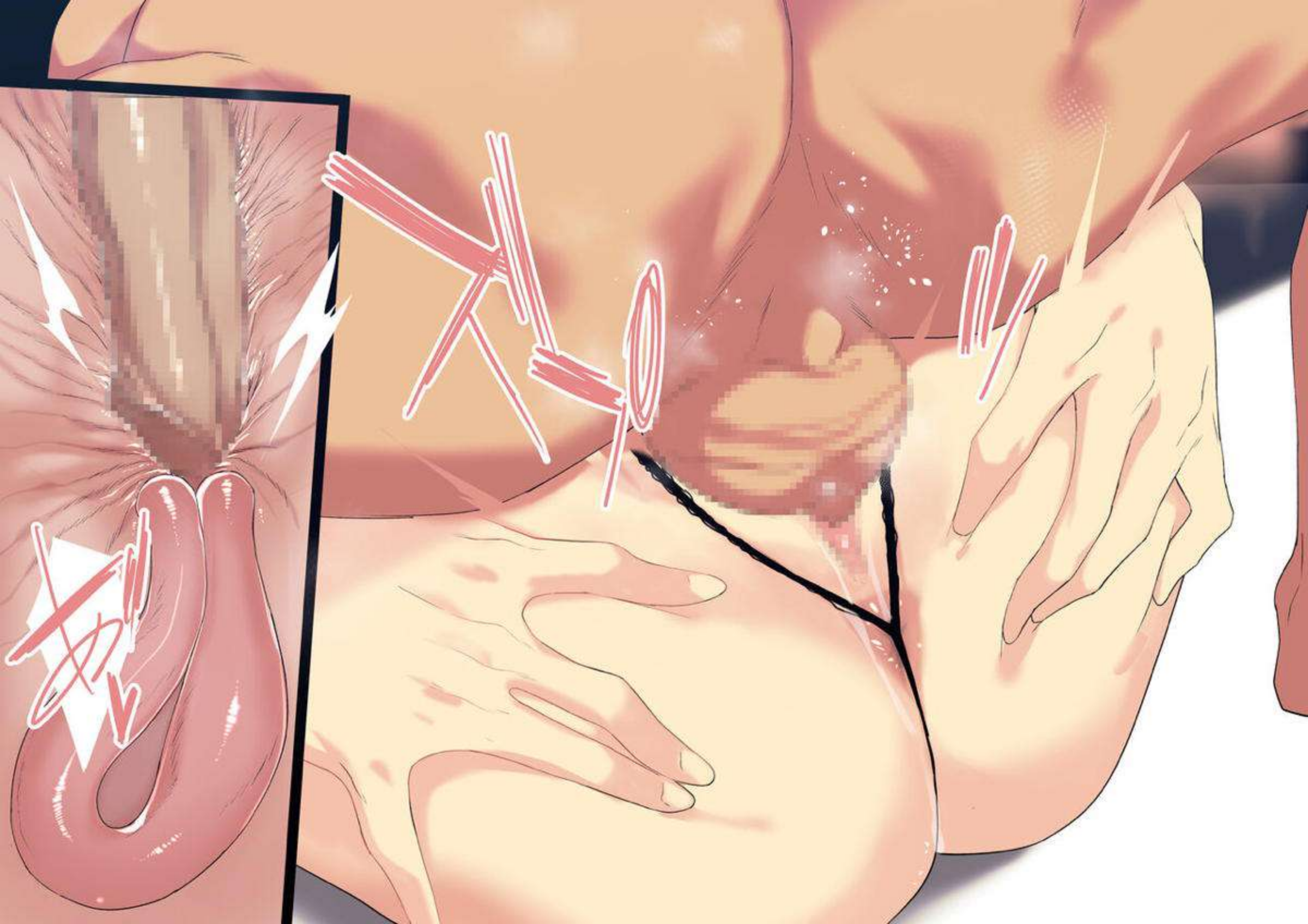
(田舎の陣中だ。。。)
また。。。っ(っ)

(今すぐでもまた
射精しそ(っ))

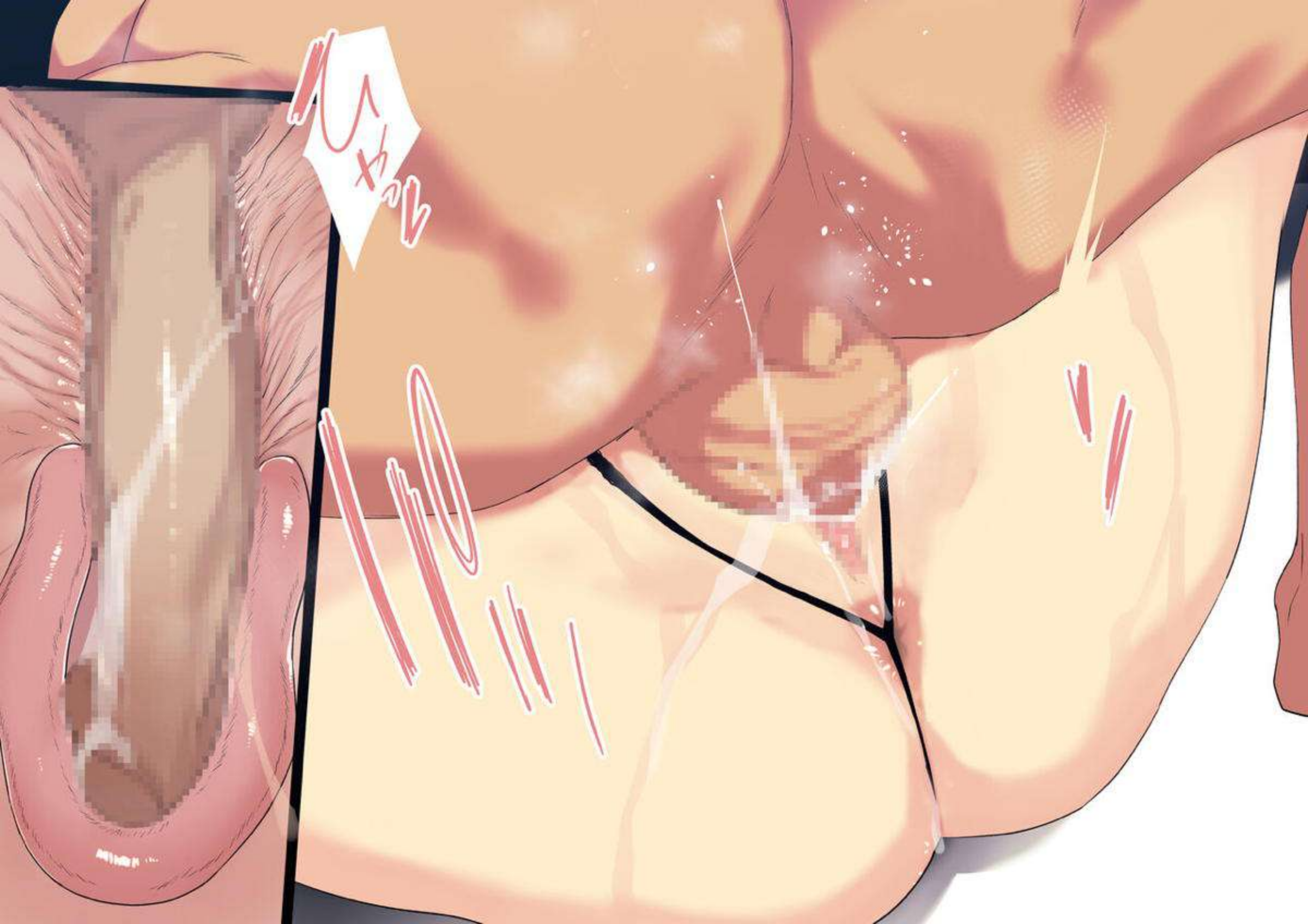


っ(っ)っ(っ)っ(っ)

っ(っ)っ(っ)っ(っ)



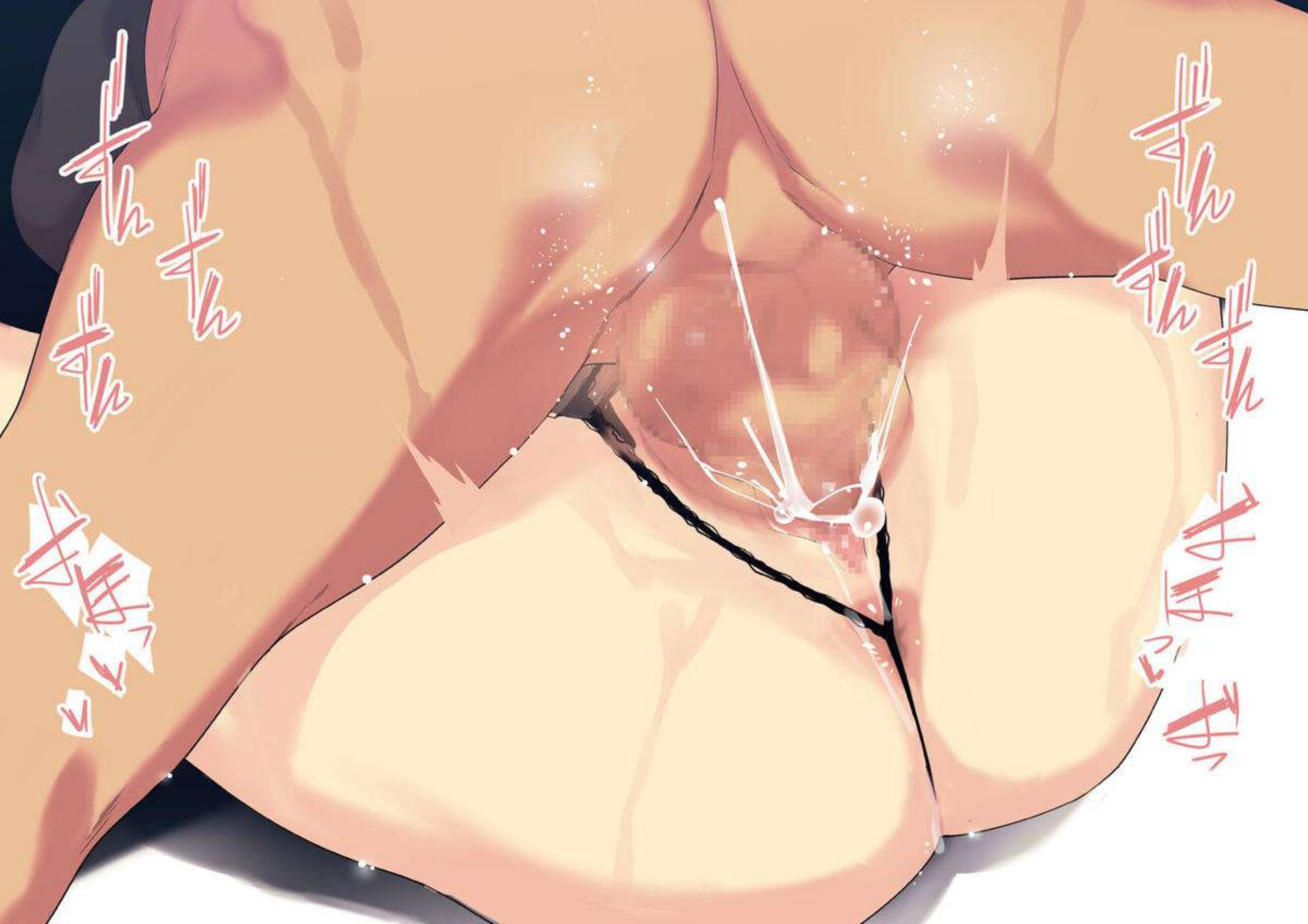


















好き

好き

好き

好き

好き



「……」

「あゝ」

「あゝ」

「あゝ」

「あゝ」

「あゝ」

「…射精…」

「しないんですか？」

「…5500000」

「…あなた…
ちやんと最後まで射精して
妊娠させて…」

あ…

おの

はあ

はあ

はあ

はあ

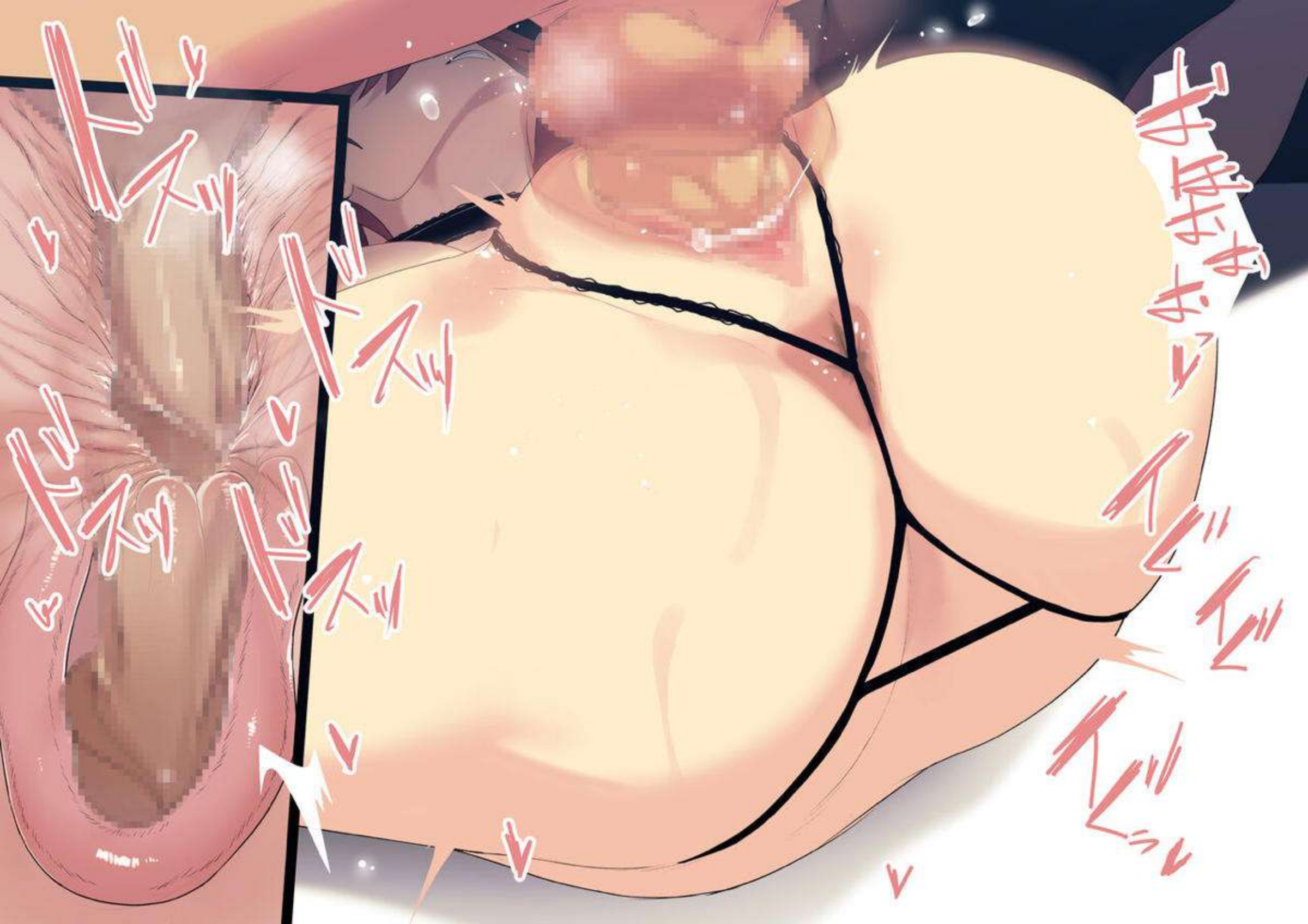
「…責任取るんでしょ？」

「…円香あ！！」











(はあはあ……
円香のおまんこ……とても
気持ちよかった……)

(やってしまったけど
まさかこの程度で妊娠は……
しない……よな……)



「はあ…
こんなんじやダメね…」

「えっ」

「ダメ…これじゃダメ…」

「確実に受精して着床するまで
膣内射精しないと…」





「さっき、責任取るって
言いましたよね？」

「私をこんな風にした責任…
取りなさい…」

「さあ…
ちゃんと妊娠するまで
頑張ってください」











